



学校法人 志賀学園
平第一幼稚園
令和3年2月26日

寒さの中にも少しずつ暖かさを感じられる日が増えてきました。園庭の陽だまりに集う子どもたちの姿に春の訪れが近いように思われます。春になると地中で冬ごもりをしていた虫が、春の到来を感じ草木が芽吹くと同時に地上へ這い出してきます。この時期を啓蟄と言います。これからの時期は三寒四温の言葉の如く、一雨降るごとに気温が上がっていき、春に近づき日差しも徐々に暖かくなっていきます。子どもの頃の自然体験は原体験として、大人になっても記憶や感覚が残ることがあります。保護者の皆様にもあるのではないのでしょうか。春の匂い、ちょっと暖かい感覚。この時期、子どもが体全体で小さな春を感じる場に、連れ出したいものですね。

3月3日は、「ひな祭り」です。ひな人形と桃の花を飾り女の子の成長としあわせを願い祝う行事で、桃の花の咲く頃に行われるので「桃の節句」ともいわれています。「桃は邪気（病気などをおこすと考えられる悪い気）を払う力がある」と考えられております。園では、3月3日にひなまつり会を行い、ひなあられを持ち帰りますので、ご家庭でお召しあがりください。

また、3月20日は「春分の日」です。子ども達には、「春分の日とは、昼と夜の長さが同じ、(実際には昼の方が少し長いというのが現代の認識)日で、この日にはご先祖様のお墓参りをしましょう」と話したいと思います。お近くに先祖様のお墓のあるご家庭は、お掃除をして、お供え物をするということを教えてあげると、体験として覚え、先祖を大切にすることを育んでくれると思います。このような体験を通し、日本の春の行事を子どもに伝えていきたいと思います。

2月19日(金)、20日(土)に2日間に分けてのドリームコンサートは新型コロナウイルス感染症の予防の為、クラス毎の発表となりました。ご家族の皆様には、ご来場の人数制限、検温、消毒、マスク着用のご協力誠にありがとうございました。

ステージに泣かずに立っていることだけでも感動のもも組の子どもたち。ばら組の子どもたちは、メロディオン、鈴、タンバリン、カスタネット、大太鼓、小太鼓等、いろいろな楽器を合わせて上手に演奏できました。すみれ組の子どもたちは、長い歌詞を覚えて歌ったり、メロディオンも一人ひとりの指がきちんと動き、上手に演奏することができました。さくら組の子どもたちは、アルト、ソプラノのパートに分かれ、素敵なメロディオン奏を聴かせてくれました。合奏「おどるポンポコリン」は、一人ひとりが自分のパートをしっかりと覚え、とても感動する演奏でした。

この一年間、保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症の予防に対しての温かいご理解とご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

吉竹 芳江